

上場会社名 株式会社ALBERT 上場取引所 東
 コード番号 3906 URL <http://www.albert2005.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上村 崇
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員最高財務責任者（氏名） 村上 嘉浩 (TEL) 03-5909-7510
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	644	6.8	△110	—	△112	—	△114	—
28年12月期第3四半期	603	△13.0	△91	—	△95	—	△70	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年12月期第3四半期	△47.85		—					
28年12月期第3四半期	△32.25		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,046	895	29.3
28年12月期	3,152	823	26.1

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 893百万円 28年12月期 821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	4.6	△348	—	△350	—	△350	—	△147.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	2,547,250株	28年12月期	2,377,900株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	—株	28年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	2,382,990株	28年12月期3Q	2,172,364株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成29年1月1日～平成29年9月30日）における我が国経済は、緩やかな景気回復基調が継続し、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られましたが、米国新政権の影響や地政学的なリスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当第3四半期会計期間において、当社が注力しているAI及びIoT分野において以下の施策を押し進めて参りました。

- ①IoT事業の多様な事業領域への展開に向け、エレクトロニクス、情報通信業界をリードする国内外の大手電機・電子機器メーカーに対し、半導体、電子デバイス、ネットワーク関連機器、ソフトウェアなどの高付加価値商品とサービス提供を行っている株式会社マクニカと業務提携を締結、株式会社マクニカが取り扱うIoTソリューション向けハード/ソフトウェア及び各種IoT向けソリューション/サービスを組み合わせることで、工場のスマートファクトリー化を実現するソリューションを共同で提供するサービス開始。
- ②人工知能（AI）、機械学習などの領域におけるデータ分析と、データサイエンティスト派遣事業拡大を視野に、大手メーカー、情報産業、大学、官民の研究機関、公共団体等を顧客とする国内最大規模の技術系人材サービス企業である株式会社テクノプロ・ホールディングスとの協業開始。
- ③人工知能（AI）・機械学習の領域で、日本マイクロソフト株式会社との連携を強化し、「Microsoft Azure活用ソリューション」の提供開始。

また、上記業務提携の推進にあたり、IoTを含む新規進出分野への研究開発、データサイエンティストを含む人材の確保への先行投資も同時並行で進めて参りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高644,074千円（前年同期比6.8%増）、営業損失110,592千円（前年同期は営業損失91,242千円）、経常損失112,293千円（前年同期は経常損失95,176千円）、四半期純損失114,014千円（前年同期は四半期純損失70,075千円）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、データソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の流動資産の残高は2,873,148千円となり、前事業年度末に比べ150,409千円減少いたしました。主な内訳は、「現金及び預金」の減少（前事業年度末比113,832千円減少）、「その他」の減少（前事業年度末比34,650千円減少）などです。

固定資産の残高は172,940千円となり、前事業年度末に比べ43,976千円増加いたしました。主な内訳は、「無形固定資産」の増加（前事業年度末比14,529千円増加）、「投資有価証券」の増加（前事業年度末比23,740千円増加）などです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の流動負債の残高は141,856千円となり、前事業年度末に比べ3,863千円減少いたしました。主な内訳は、「賞与引当金」の減少（前事業年度末比15,152千円減少）、「その他」の増加（前事業年度末比11,137千円増加）などです。

固定負債の残高は2,009,040千円となり、前事業年度末に比べ173,765千円減少いたしました。主な内訳は、「新株予約権付社債」の減少（前事業年度末比180,741千円減少）などです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は895,191千円となり、前事業年度末に比べ71,196千円増加いたしました。主な内訳は、「資本金」の増加（前事業年度末比92,410千円増加）および「資本剰余金」の増加（前事業年度末比92,410千円増加）、四半期純損失の計上などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年2月14日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,835,812	2,721,979
受取手形及び売掛金	125,190	121,607
仕掛品	6,275	7,930
その他	56,342	21,691
貸倒引当金	△62	△60
流動資産合計	3,023,558	2,873,148
固定資産		
有形固定資産	—	1,141
無形固定資産	—	14,529
投資その他の資産		
投資有価証券	73,869	97,609
その他	55,094	59,659
投資その他の資産合計	128,963	157,269
固定資産合計	128,963	172,940
資産合計	3,152,521	3,046,088
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,381	7,308
未払法人税等	5,998	4,223
賞与引当金	36,883	21,731
その他	97,455	108,593
流動負債合計	145,720	141,856
固定負債		
新株予約権付社債	2,168,901	1,988,159
有給休暇引当金	12,851	20,121
その他	1,053	759
固定負債合計	2,182,805	2,009,040
負債合計	2,328,525	2,150,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,333	879,744
資本剰余金	448,333	540,744
利益剰余金	△415,033	△529,048
株主資本合計	820,634	891,441
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,321	1,710
評価・換算差額等合計	1,321	1,710
新株予約権	2,040	2,040
純資産合計	823,995	895,191
負債純資産合計	3,152,521	3,046,088

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	603,152	644,074
売上原価	277,973	258,662
売上総利益	325,179	385,411
販売費及び一般管理費	416,421	496,003
営業損失(△)	△91,242	△110,592
営業外収益		
受取利息	168	33
為替差益	—	374
講演料等収入	30	280
保険解約返戻金	212	136
その他	12	41
営業外収益合計	423	866
営業外費用		
支払利息	81	—
為替差損	2,482	—
株式交付費	—	1,213
投資事業組合運用損	1,795	1,354
営業外費用合計	4,358	2,568
経常損失(△)	△95,176	△112,293
特別利益		
投資有価証券売却益	25,399	—
特別利益合計	25,399	—
税引前四半期純損失(△)	△69,777	△112,293
法人税、住民税及び事業税	297	1,720
法人税等合計	297	1,720
四半期純損失(△)	△70,075	△114,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

当社は平成29年9月26日付で、株式会社ウィズ・パートナーズが無限責任組合員として組成する投資事業有限責任組合の保有する第1回無担保転換社債型新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使がありました。

この結果、「資本金」および「資本剰余金」がそれぞれ90,370千円増加、当第3四半期累計期間における他の新株予約権の行使による増加を含め、当第3四半期会計期間末において、「資本金」が879,744千円、「資本剰余金」が540,744千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、データソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら前事業年度において株式会社ウィズ・パートナーズが業務執行組合員を務めるウィズ・アジア・エボリューション・ファンド投資事業有限責任組合を割当先として、償還期日を平成31年12月27日とする第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行により、2,409,890千円の資金調達を実施しており、当第3四半期会計期間末においても「現金及び預金」2,721,979千円を保有し、必要な運転資金を確保していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し注記は記載しておりません。